

2021年
春

どうそ 満 議員活動報告



発行責任者 道祖 満
飯塚市鯉田2525-44
TEL 25-3280

飯塚市議会議員

どうそ 道祖 満

つくります!
newしんいつがライフ

令和3年（2021年）

新春のお喜びを申し上げます。

皆様お元気ですか。

年末年始の外出は控えてお過ごしですか。

私の居住する、市の間自治会の年末恒例の行事の餅つき大会が新型コロナウイルス感染防止のため中止になりました。

毎年年初に遠賀川河川敷で開催されていましたが、鯉田地区のどんと焼きも新型コロナウイルス感染防止のため中止になりました。

地域の色々な行事が中止になることは非常に残念でなりません。

社会環境が安定するまでにはまだまだ時間が必要なようですが、今年は、ワクチンも接種可能となりますので、閉塞感のある生活から抜け出せて明るい年であることを強く願っています。（マスク着用の効果でしょうか、毎年冬に入れば喉の痛みが生じるのですが、今回の冬は、まだ喉が痛むことはありません。今後も、マスク着用と、手洗いは続けます。）

皆様も体調管理には、くれぐれもお気を付け下さい。

飯塚市議会では、令和2年12月7日から12月18日まで12月定例市議会が開催されました。

今回の議会では、新型コロナウイルス感染症対策事業として、令和2年度飯塚市一般会計補正予算（第11号）「ひとり親世帯臨時特別給付金事業費（支給額第1子5万円・第2子以降1名につき3万円を再支給するもの。）1億3,051万円」と、「新生児特別給付金事業費（令和2年4月28日から令和3年3月31日までの新生児に10万円を支給するもの。）9,535万9千円」が、追加計上されました。

12月定例市議会では、「新体育館の建設に関連して・周辺の公園整備について」と「市の財政について」、一般質問を行いました。

本年も変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

令和 2 年 12 月定例市議会が開催されました。

令和 2 年 12 月 7 日から 12 月 18 日まで、令和 2 年 12 月定例市議会が開催されました。

前期の実績に基づいた経費の見直しと新型コロナウイルス感染症対策を含む今後見込まれる所要額を補正するもので、令和 2 年度飯塚市一般会計補正予算 (第 10 号)、(第 11 号) と、工業用地造成事業特別会計を除く 10 特別会計の補正予算と 4 企業会計の補正予算の審議が行われました。

条例議案の主なものは、次のものが審議されました。

- ◎飯塚市交流センター条例の一部を改正する条例 (鯉田交流センターの移転に伴い、位置の変更と使用料の改定を行うもので、令和 3 年 7 月から施行するもの。)
 - ◎飯塚市特別会計設置条例の一部を改正する条例 (住宅新築資金等貸付事業における市債の償還終了に伴う飯塚市住宅新築資金等貸付特別会計の廃止、飯塚市住宅新築資金等貸付特別会計減債基金条例の廃止を令和 3 年 4 月 1 日施行するもの。)
 - ◎飯塚市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 (福岡県重度障がい者医療費支給制度の改正に伴い、重度障がい者の扶養義務者等の所得制限について、児童手当準拠とする対象者を、「12 歳の年度末までにある者」を「15 歳の年度末までにある者」と令和 3 年 4 月 1 日からするもの。)
 - ◎飯塚市集会所及び生活館条例の一部を改正する条例 (北勢田集会所の無償譲渡に伴う廃止を公布の日から施行するもの。)
 - ◎飯塚市庄内保健福祉総合センターハーモニー条例の一部を改正する条例 (庄内保健福祉総合センターハーモニーと庄内交流センターを複合化するため、指定管理者と直営による管理も可能とするもの。)
- その他の議案の審議の主なものとしては、次のものが行われました。
- ◎契約の締結「筑穂保育所園舎建設工事」(大和・瑞建特定建設工事共同企業体と 3 億 1,133 万 4,100 円で工事契約を結ぶもの。)
 - ◎財産の譲渡「北勢田集会所建物」(認可地縁団体北勢田自治会に木造かわらぶき平家建 160.51 m²を、無償譲渡するもの。)
 - ◎指定管理者の指定「飯塚市健康の森公園体育施設」(飯塚市健康の森体育施設の管理運営について一般社団法人飯塚市スポーツ協会を、指定管理者として令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの 5 年間指定するもの。)
 - ◎指定管理者の指定「飯塚市リサイクルプラザ工房棟」(飯塚市リサイクルプラザ工房棟を管理運営について㈱トキワビル商會を、指定管理者として令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの 5 年間指定するもの。)
 - ◎指定管理者の指定「サンビレッジ茜」(サンビレッジ茜の管理運営について一般財団法

人サンビレッジ茜を、指定管理者として令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間指定するもの。)

専決処分の承認案件が2件提案されました。

◎専決処分の承認「飯塚市特別職の職員等の期末手当の支給の特例に関する条例」(令和2年人事院勧告に伴う国家公務員の給与の改定動向や本市職員給与改定状況に鑑み、特別職の職員等の12月期末手当について、市長10%、副市長・教育長・企業管理者5%減額するもの。

◎専決処分の承認「飯塚市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」(令和2年人事院勧告に伴い国家公務員の給与の改定が行われたので、これを参考にして職員給与を改定するもので、期末手当支給月数を0.05月減額して1.25月とするもの。)

*専決処分案件2件中、特別職の期末手当減額については、賛成いたしました。

職員の期末手当減額については、通常業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策で業務が増加していることを考慮すれば、減額すべきでないと思い反対致しました。

*9月定例市議会に「新型コロナウイルス感染症対応のため議員報酬を10%一年間削減する。」ことを提案し結果としては否決されましたが、この際の反対討論では、提案について議論されていないということで反対すると発言した議員がいましたが、今回の特別職・職員の期末手当削減については、質疑も議論もすることなく賛成していました。

「新体育館建設に関連して」一般質問

現在、体育館の建設が地中に想定外の天然物質「フミン酸(腐植酸)」の存在がわかり来年2月末までに対処策を検討するとして、一時中断していますが、早期に対処策を打ち出して建設の再開を要望するとともに、周辺の公園の整備を要望致しました。

質問 新体育館の建設が一時中断しましたが、市の対応状況の説明を求めます。

答弁 地盤改良杭工事において強度不足の杭が生じた。調査の結果、一部の土壌でフミン酸(腐植酸)が高い数値で検出されたため工事を一時中断している。今後は、調査結果を基に複数の工法を比較検討して対応を決めていきたい。

質問 新体育館の建設には、市民の意見を聞きながら、多くの審議を行い今日に至っていますが、建設の審議の際には想定されなかった「新型コロナウイルス感染症」が発生いたしました。この新体育館の建設に際しての、計画コンセプト(基本設計)が五つありましたが、「市民の安全な暮らしを支える防災拠点セーフティ・アリーナ」(日常的に市民が憩う施設とし、万が一災害時は速やかに防災モードへ移行可能な計画とすることで、誰でもが安心して利活用できる地域の防災拠点を実現します。)との計画コンセプトに従い、災害時のゾーニング計画が示されていますが、その際の、「災害時における新体育館の位置づけ」、「避難所の規模設定」に

についての考え方はどのようになっていましたか。

答弁 災害時には本市の避難所の拠点となる施設と位置づけ、防災備蓄倉庫を設け、非常用自家発電設備、雑用水の貯水設備を設けている。避難所の規模としては一人当たり 3.3 ㎡を確保して 810 名の収容人数を想定している。

質問 避難所としての受け入れ人員は、810 名（緊急対応初期の段階での就寝可能な専有面積として一人当たり 3.3 ㎡）としていますが、新型コロナウイルス感染症への対応策を考えた場合この一人当たりの専有面積は広くなり 810 名は受け入れできないのではないかと思います、どのようになるのかお尋ねいたします。

答弁 質問議員の言われる通り。新型コロナウイルス感染症対策として避難者の間隔を空けると、単純計算で 200 人程度となります。

質問 災害時の避難所の収容人員数については、改めて、市内各所とも見直す必要があると思いますので、早期の対応をお願い致します。

計画コンセプトの中に「市民運動公園全体の利便性を高めるホスピタリティ・アリーナ」（建物と運動公園全体が機能的に連携し、日常利用から様々なイベントが、万が一の災害時まで、高度な利便性を保つホスピタリティ溢れる計画とし、住民の居場所となるサードプレイスを創出します。）とありますが、具体的に表現するとどのようになりますか。

答弁 新体育館で開催されるイベント以外で、例えばテニス大会時の利用、施設周辺のランニング時の利用等が考えられる。様々なスポーツイベントが実現可能となり人と人とのつながりが形成され交流の場になることを期待している。

質問 「市民運動公園全体」とは、具体的にはどの範囲までを含んでいますか。

テニスコートの上にあります公園・横にあります幸せの森、篠田ため池と道路の間の林・長寿の森等の範囲は、公園のようではありますが、公園でしょうか。公園の範囲はどのようになっていますか。

答弁 飯塚市新体育館基本設計に記載している市民運動公園全体とは、新体育館と駐車場で、新体育館東側のテニスコート・幸せの森、西側の篠田ため池・長寿の森、北側の運動広場を含んだ範囲は市民公園の区域となっている。

質問 「市民運動公園」以外の隣接する既存の公園の都市計画上の位置づけは、どのようになっていますか。

答弁 平成 13 年に市民公園として都市計画決定をしている、平成 30 年の部分改訂した都市計画マスタープランでは、スポーツ・レクリエーションの拠点エリアを目指すこととなっている。

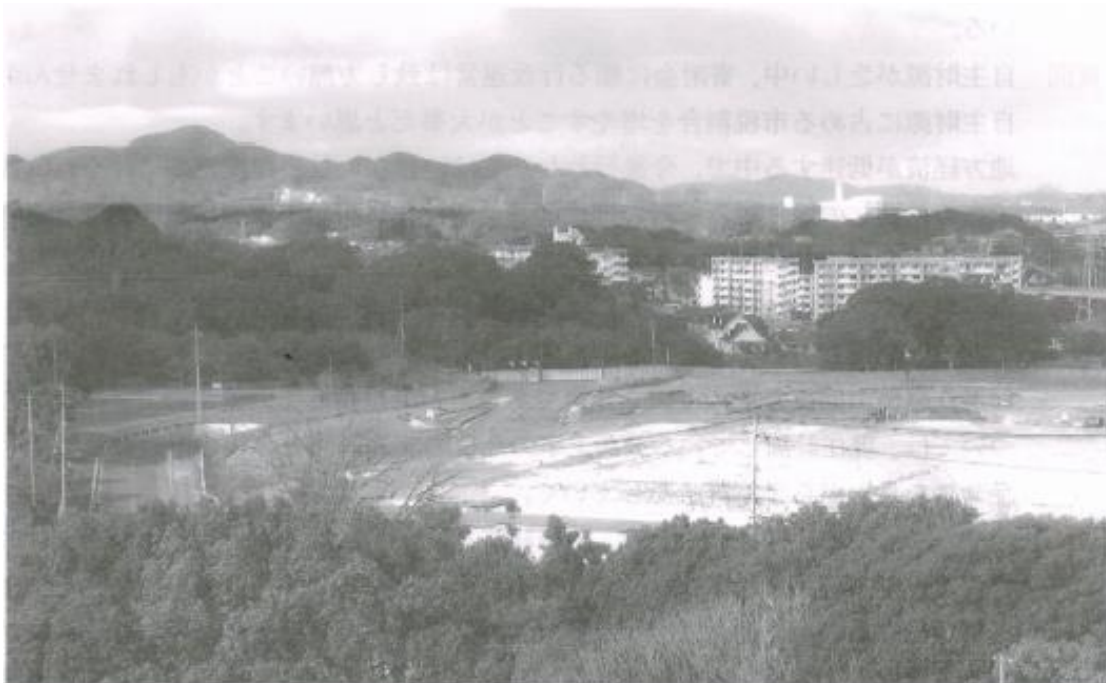
質問 「市民運動公園」以外の隣接する既存の公園について、特別委員会においても質疑は無かったかと思いますが、また、市の方からもこれまで新体育館との機能的な連携等についての考えは示されなかったと記憶していますが、この隣接する公

園との機能的な連携についてはどのように考えられていますか。

答弁 現在、市民公園全体の機能的連携についての具体的な計画は策定出来ていない。今後どのような連携や整備が望ましいのか関係各課と連携しながら検討していきたい。

質問 各地での災害時の避難所の避難者の受け入れ状況を見ていますと、建物の中に避難することによって周りの人に迷惑を掛けたくない等の思いで、駐車場での車中泊、又は、キャンプ用のテント等を持参して避難生活を行っている姿を目にします。また、新型コロナウイルス感染症の発生により、災害による避難所の在り方については、再検討が求められる状況になって来ていると思います。「市民運動公園」には、水道もトイレも完備されていますので、災害時には利便性が高い場所だと考えます。ここに隣接する既存の公園を日常的に市民が利用しやすい環境、新体育館来館者も利用しやすい環境に、同時に災害時には避難所として利用することができる公園として整備に取り組むことは出来ないだろうかと考えますが、市は、どのように考えますか。

答弁 市民公園は、令和2年に改正された飯塚市地域防災計画において広域避難地と指定している。この計画では、1万1,960人の収容可能人数を考えている市にとって非常に重要な場所と位置づけている。今後、質問議員が言われるように、どのような整備が望ましいのか、関係各課と連携しながら検討していきたい。



(工事が一時中断した新体育館建設用地と周辺風景)

「市の財政について」一般質問

市の財政に対する新型コロナウイルス感染症による影響状況と、今後の対応についてどのように取組むのか一般質問を行いました。

質問 今回の飯塚市一般会計補正予算（10号）では、11億5368万6千円を補正していますが、歳入をみていますと、市民税は5453万4千円と増加しています。市税総額では、2億7389万3千円の減額となっています。その理由を説明してください。

答弁 個人市民税については、平成31年1月から令和元年12月までの所得に対して課税するもので、この間、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない。法人市民税は、決算時期が法人ごとに異なっており、今年度後半には、新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれ、減額の算定をしている。市税総額の減額については、新型コロナウイルス感染症対策で、固定資産税の徴収の猶予、近年増加傾向にあった償却資産の新規設備投資が当初予算見込みを下回ったことにより、固定資産税が減額したことが主な要因である。

質問 財政調整基金の繰り入れもありますが、寄附金に頼る行政運営になっていると感じるが、如何ですか。

答弁 ふるさと応援寄附金を原資とした、ふるさと応援基金繰入金約3億5千万円は歳出予算の事業費に活用しており、ふるさと応援寄附金は、貴重な財源となっている。

質問 自主財源が乏しい中、寄附金に頼る行政運営は致し方無いことかもしれませんが、自主財源に占める市税割合を増やすことが大事だと思います。地方経済が低迷する中で、今後行わなくてはいけない社会環境整備に伴う、公共工事の前倒しの取り組みを行い地域経済の活性化に努め市税の増収を図るべきと考えますが、如何でしょうか。

答弁 新型コロナウイルス感染症拡大により疲弊した地域経済を立て直す施策は必要であると認識している。公共工事の発注が生産活動の拡大や雇用機会の拡大につながり経済の回復を求めていく施策であることも理解していますので、ご指摘については、現在計画している公共工事の今後の実施計画と今後の財政見通しのバランスを見ながら予算計上をしていく。

質問 今やらなくてはいけないことは、地域経済を動かすには考えられる対策を実行に移すことが必要だと思います。公共工事で何が出来るのか。各種の補助金を使って何が出来るのか。例えば、水道管の老朽化に伴う布設替えは早急に行う必要があることは監査委員からも指摘されています。市道の舗装が痛んでいます、高齢者の歩けない歩道が各所にあります。このような道路の維持、改修については、

いずれは取り組まなければならないと考えます。

公共工事に限らず、社会環境整備には、公共下水道へのつなぎ込み、合併浄化槽設置の補助金の期間を切った増額を考え、仕事量の増加をさせ地域経済への効果を期待するなどが考えられます。公共工事で何が出来るのか、現行あるまちづくりに関係する制度の補助金を使って何が出来るのか、考えて頂きたい。

財政見直しを考えることは必要と考えますが、新型コロナウイルス感染症と言う災害が今生じているのであれば、財政調整基金等の基金の活用を行うべき状況にあると考えますが、市はどう考えますか。

答弁 (副市長) 今申されるように、このコロナの中で地域経済が疲弊しているのも事実である。疲弊した経済活性化のためには、公共工事の前倒しも必要だと考えている。言われるように、財源のこともある。財調のことについても財政当局と協議しながら、新年度予算に反映させながら、予算計上に向けて努力していきたいと考えている。

経済建設委員会報告

令和2年12月15日開催の経済建設委員会が開催されました。

◎所管事務調査として「飯塚市定住促進住宅改修補助金制度」の見直しを要望致しました。(この制度は、補助対象者が所有し、自ら居住している住宅、自ら居住する予定の住宅を、省エネ改修、バリアフリー改修、耐久性向上改修、居住性向上の目的とする工事について工事金額の10%上限8万円を補助するものです。)、

しかし、この制度では増築改修については適用されないことになっています。

新型コロナウイルス感染症で、仕事を居住する住宅で行う、感染防止のため外出を控える等住宅で過ごす時間が長くなっていますので、増築を含めた住宅の改修を思い立つ方が増える傾向にあると思います。

社会状況に合わせて、この制度の補助金額を増額することと、増築改修にもこの制度を適用できる制度に見直すことを、市に要望致しました。

この要望に対して、前向きに検討を行うとの答弁でした。

◎経済建設委員会では、議案130号指定管理者の指定「サンビレッジ茜」について審議を行いました。わたしは、「サンビレッジ茜」の管理運営については、平成18年の新飯塚市発足時から一般財団法人サンビレッジ茜が、問題もなく行って来ていますし、市は定住促進にも取り組んでいます。この施設で働く人たちの長期の生活設計を考えると、今後5年間の指定管理ではなく長期の指定管理について考えることを、市に要望致しました。

この要望に対し、指定管理者の指定管理期間の長期化については、今期間中に次回期間については考えるとの答弁でした。

「改訂・都市計画マスタープラン」作成へ

「飯塚市都市計画基本方針等策定委員会」が、令和2年8月に発足しました。

この委員会の委員として市議会から選出され協議に参加しています。

この委員会では、飯塚市が、2010年（平成22年）4月に都市づくりのために策定した「飯塚市都市計画マスタープラン」が、策定から10年間が経過し、この間に行われた法令の改正、市の上位計画である「飯塚市総合計画の改定」、「飯塚市立地適正化計画の策定」などとともに社会情勢の変化に対応するため「都市計画マスタープラン」の改定に取り組んでいます。

「都市計画マスタープラン」は、都市の将来像や土地利用の基本方針、道路・公園・下水道などの都市施設の整備方針を明らかにする事によって都市計画の総合的な指針としての役割を果たすものです。2021年（令和3年）度の策定を目指し、2031年（令和13年）度までの概ね10年間の計画期間が年次目標として考えられています。

また、合わせて、2011年（平成23年）2月に策定された「飯塚市緑の基本計画」の改定についても、今後10年間の計画期間を目標年次に改定作業が始まりました。

自治会活動に参加

わたしの居住する市の間自治会では、65歳以上になりますと老人会「むつみ会」に加入することが出来ます。

「むつみ会」では、毎月第2日曜日に市の間自治会内で資源回収事業（アルミ缶）を行っています。わたしも「むつみ会」の一員として時間の許す限り資源回収事業に参加しています。

（資源回収事業に参加した「むつみ会」の皆さんと一緒に）

